

授業科目名	教育実習指導	担当教員名	三上 聡子 / 石村 万寿美
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める 科目区分 等	教育実践に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 1単位 (8時間)	授業方法/担当形態	演習 / オムニバス
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 幼稚園副総園長、幼稚園教諭として長年にわたる実務経験を活かして、幼児教育の現場での実例を多く取り上げて授業を行っている。＜三上＞ 幼稚園園長、幼稚園教諭として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。＜石村＞
授業の概要 及び 全体目標	幼稚園教育の意義と目標を理解して教育実習への意欲を高め、実習に臨むために必要なことを学ぶ。		
到達目標	(1)事前指導では教育実習生として学校の教育活動に参画する意識を高め、事後指導では教育実習を経て得られた成果と課題等を省察するとともに、教員免許取得までに習得すべき知識や技能等について理解する。これらを通して教育実習の意義を理解する。 ①教育実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚したうえで意欲的に教育実習に参加することができる。 ②教育実習を通して得られた知識と経験をふりかえり、教員免許取得までにさらに習得することが必要な知識や技能等を理解している。		
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著		
参考書・ 参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社、「月刊 保育とカリキュラム」(ひかりのくに)		
成績評価の方法	平常の受講態度や発表、課題(提出物)、実習園の評価をもとに可否を判定する。		
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等	<石村> 事前学習については授業で指示する。事後学習については毎回コメントシート(受講カード)を提出。 オフィスアワー 木曜日 15:00～16:00 (306・510研究室) 金曜日 16:30～17:30 (306・510研究室)		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	教育実習の意義と目的 教育実習に必要な手続き、準備物について		(1)～①②③④
第2回	幼児教育の実際 設定保育等 →保育現場にて→ 幼児の実際、実習日誌について、実習直前の心構えと準備		(2)～①②③④ (3)～①②③④
第3回	実習段階「導入段階」 指導実習の留意事項 (1)幼稚園現場を理解する (2)園児の生活の流れを理解する (3)保育者に学ぶ ○実施時期・期間：1年 11月・5日間 ○対象児：3歳児		(4)～①②
第4回	教育実習事後反省会(グループ討議)、総括		(1)～①②③④ (2)～①②③④ (3)～①②③
第5回	2年次の教育実習の目的(1年次の反省を踏まえて)、教育実習に必要な手続き、準備物について 設定保育について、指導案に基づいた模擬保育と反省 実習直前の心構えと準備		(4)～①②
第6回	実習段階「基礎段階」 指導実習の留意事項 (1)短時間の指導実習 (2)短時間の指導実習のプロセス (3)実習の指導案 ○実施時期・期間：2年 11月・5日間 ○対象児：3～5歳児		(1)～①②③④ (2)～①②③④ (3)～①②
第7回	教育実習事後反省会(グループ討議)、総括		(3)～②③
第8回	2年次の教育実習の目的(1年次の反省を踏まえて) 教育実習に必要な手続き、準備物について 1日実習の流れ、設定保育、指導案について		(4)～①②
第9回	指導案に基づいた模擬保育と反省		
第10回	実習段階「総合段階」 指導実習の配慮事項 (1)長時間の指導実習 (2)日の指導計画(日案)作成の留意点 (3)指導の展開 ○実施時期・期間：2年 6月・10日間 ○対象児：3～5歳児		
第11回	教育実習事後反省会(グループ討議)、総括		